

被災地への全国からの 応援職員を紹介します

平成29年12月

①氏名 ②派遣元団体（出身地）

③所属課（業務内容）④派遣期間 ⑤自己紹介

檜葉町

①鈴木 登（すずき のぼる）

②神奈川県

③建設課（用地事務全般）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤この現場写真は、檜葉町に派遣されて、今行っている仕事の一部です。23・3・11の原発事故で当檜葉町も甚大な被害を受けました。町は除染作業を終えてかなりの廃棄物が出ましたので、これを特定廃棄物埋立処分施設に搬入するため一部町道を改良して輸送経路をつくり廃棄物を運搬することになっております。国（環境省）の職員と一緒にやる仕事ですので目的もはっきりしております。早い時期に運搬業務を終結させ福島県が本来の姿に戻っていくことの手伝いを派遣職員のひとりとして続けていきたいと思っております。



双葉町

①砂場 公子（すなば きみこ）

②福島県（鳥取県鳥取市）

③健康福祉課（保健師）

④平成29年4月2日～平成30年3月31日



⑤震災当初には参加できなかった避難者支援・復興支援に携わりたいと以前から考えていました。

当初戸惑っていた家族も笑顔で送り出してくれ、「頑張らなければ」という思いでやって来ました。気持ちはあっても体と頭がついてこない現実もありますが、職場の皆さんのフォローをいただき、何とか過ごしております。

東北訛りをもう少し習得し、テンポのいい会話ができるように頑張ってみたいと思っています。

①吉田 千賀男（よしだ ちかお）

②茨城県北茨城市

③教育委員会教育総務課（生涯学習事務）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日



⑤元々福島県いわき市に居住しており、東日本大震災や原発事故の被害を間近に見たり聞いたりし、自分に何かできないかと思っていたところに、今回の応援の打診があり、参りました。

職場は生涯学習係に配属され、町民と接する機会が多いため町民と町づくりの一助となるよう微力ですが努力してまいります。

①橋本 美喜子（はしもと みきこ）

②福島県

③健康福祉課兼生活支援課（保健師業務）

④平成27年11月1日～

平成30年10月31日



⑤震災により避難している方のお手伝いできればと思い、福島県の任期付職員に応募し3年目になりました。

双葉町役場郡山支所において、主に中通り地方、会津地方に避難している方への健康支援を行っており、健康相談や訪問、健康教室、健診などを行っています。

震災後、避難期間の長期化もあり、健康状態の悪化、高齢化も進み健康支援が大切になってきていると感じています。その中で住民の皆さんと接し、住民の皆さんの話に耳を傾けながらも、私の方が元気をもらっていることも多いと気づかされています。人と人とのつながりが大切と感じています。

今後も、住民の皆さんの健康づくりのために少しでもお役に立てるよう、職員の皆さんと協力していきたいと思っています。

①廣田 春二（ひろた はるじ）

②新潟県柏崎市

③復興推進課

（復興事業用地関係、住民意向調査）

④平成27年4月1日～平成30年3月31日



⑤柏崎市役所で定年を迎え再任用に際し、同じ原発立地自治体の復興のお役に立ちたく派遣に応募しました。

双葉町役場いわき事務所での勤務も3年目を迎えますが、浜通りの冬季間の温暖な気候は日本海側と正反対で大変住み良く感じます。

双葉町職員の皆様は温厚で、自らも被災し家族とも離れて単身赴任を強いられている中、住民や町内の復興に懸命に取り組んでおられます。

双葉町の復興と職員の皆様の負担を軽減できるようお役に立ちたいと思っています。

川 俣 町

山木屋小中建設事業の現場関係者と撮影
後列右から3人目



- ①袴田 栄一（はかまた えいいち）
- ②福島県（静岡県島田市）
- ③学校教育課（山木屋小中学校建設事業事務）
- ④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤福島県に学生時代住んだこともあり、復興のお手伝いができればと、福島県任期付職員採用試験を受けました。

川俣町に派遣され、山木屋小中学校の校舎等大規模改修、増築、プール改築工事等の監督員業務を担当しています。

15年ぶりの現場で、若いころを思い出し、職場及び現場の皆様に助けられながら新鮮な日々を送っています。

来年4月の開校に向けて、児童・生徒を迎え入れることができるよう、今後も頑張っていきます。

職員親和会練成会（山形県：最上峡にて）

- ①三浦 康之（みうら やすゆき）
- ②福島県（兵庫県神戸市）
- ③産業課
（原子力災害避難区域等帰還・再生加速事業
に係る農地保全工事の設計・施工監理）
- ④平成29年4月2日～平成30年3月31日



⑤直近の20数年間は、公共事業用地早期取得に向けた総合的な支援業務（土地収用法に基づく手続き等）を主な仕事として勤めてきましたが、今回の大震災復興における土木技術者の不足を知り、定年を機に若い頃の経験を生かし、また、阪神淡路大震災の被災者の1人として、被災地の早期復興・再生の一助になればとの思いから、宮城県気仙沼市（防災集団移転団地造成工事）に3年間従事し、事業の完了に伴い本年度から川俣町に来ています。

原子力災害という目に見えない特殊な災害のなか、地域のニーズを的確に把握し、機動的にきめ細かく対応したいと思っています。

相馬市



①皆川 勝（みながわ まさる）

②神奈川県（新潟県）

③建築課

（電気設備、機械設備の工事管理）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤震災復興のお手伝いがしたく、神奈川県任期付職員として採用され相馬市に派遣されました。今年で4年目となります。着任当時は原釜、磯部の漁港は津波で破壊され、ほとんど建物は残ってなく更地状態でした。この3年間で荷捌施設等復旧はしましたが、原発事故の影響により、震災前の水揚げまで至っておりません。相馬市は復興事業進行中であり専門分野の経験を活かし、相馬市の震災復興に少しでもお手伝いができればと思っております。

①山田 正史（やまだ まさし）

②東京都足立区

③都市整備課（都市計画係：都市計画法令関連業務）

④平成28年4月1日～平成30年3月31日



⑤災害協力派遣職員として、相馬に来て2年目を迎えました。派遣の動機は、テレビや新聞で震災報道を目にするたびに、自分にも何か役に立てることはないかという思いがずっと心にあったからです。

自然豊かな相馬のまちは、防潮堤の建設や避難道路の整備など、日々、復旧工事が進んでいます。しかし、風評被害の払拭に向けては、今も市民の皆様や職員の方々は粘り強く取り組んでいます。私も復興の一助となれるよう頑張ります。



①曾我部 兼史 (そがべ けんじ)

②愛媛県西条市

③建設部土木課 (土木係)

④平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日

⑤過去に応援職員として派遣された地元西条市の同僚から、東日本大震災からの復興の様子を伺ったところ、自分の力を少しでも復興に役立てることができるならばと思い、派遣を志願しました。

着任当初は気候風土、言葉と慣れないことが多く戸惑いもありましたが、相馬市職員の温かい気遣いのおかげで、徐々に福島県の食文化を楽しむ余裕もできました。

これからは福島県に限らず、東北地方の食文化にもっと触れていこうと思っています。



①二井 厚史 (にい あつし)

②愛知県尾張旭市

③土木課 (土木係：復興道路用地事務担当)

④平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日

⑤未曾有の大震災から6年半余りが過ぎ、未だ続く復興への道。とにかく何かお役に立てないものかと思い、迷うことなく尾張旭市から相馬市へ最初の派遣職員としてやってまいりました。

土木課の業務は初めてですが、職場のメンバーに支えていただきながら楽しく取り組ませてもらっています。

福島県は自然も食べ物もとても豊かで、何より人の優しさには日々感謝するほどです。

復興の一助に貢献できるよう全力で頑張ります！

①齋藤 みずき (さいとう みずき)

②新潟県三条市

③土木課 (復興道路事業の用地買収事務等)

④平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日

⑤今年度から福島県相馬市で派遣職員としてお仕事をさせていただけることになり、早8か月が過ぎました。

相馬市では、皆様あたたかく接していただき、地域の温かな人柄を感じています。過日には職場の方の御自宅にお招きいただき、松川浦で取れたおいしい魚をごちそうになりました。

あたたかな土地柄、自然、食べ物……魅力あふれる相馬市の復興に携われているということ胸に、少しでもお力添えができるように頑張ります。



①菊池 剛馬 (きくち ごうま)

②東京都稲城市

③土木課 (復興道路の建設)

④平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日

⑤土木技術職員として7年従事してきた経験を少しでも活せるかと思い、派遣職員として参りました。

これまでは土地区画整理事業や道路管理などを担当しておりましたが、道路工事は初めての経験であるため指針、基準書などを確認しながら仕事を進めています。常にフレッシュな気分で取り組むことが出来ており、充実した日々を過ごしています。

山派ですが、沿岸の相馬市で生活する機会ですので、海も満喫をしていきたいと思っています。



①南雲 嘉弘 (なぐも よしひろ)

②千葉県流山市

③農林水産課

(大排水路隧道閉塞工事の発注・監督)

④平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日

⑤現場に出るたび海辺や農村地帯の風景を見ると、その地区の臭いや風の音、鳥の鳴き声などが、とても懐かしく感じられ心が洗われる。この情景がいつまでもつづいてくれればという思いである。



①馬場 裕貴 (ばば ひろたか)

②鹿児島県日置市

③農林水産課

(森林除染等の発注・監督)

④平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日

⑤相馬市に着任し半年が経過しました。除染や森林再生事業の発注および監督業務を担当しています。経験したことのない業務に不安や戸惑いもありましたが、職場の方の優しさ・温かさに救われる毎日です。

不自由なく生活できる現在の環境に震災からの復興をみる一方、原発事故による農水産物の風評被害など課題も多くあるように感じています。微力ながら課題解決の一助となるよう頑張ります。



広野町

①中上 幸義 (なかがみ ゆきよし)

②神奈川県

③建設課

(下水道復旧工事他)

④平成26年7月2日～

平成30年3月31日

⑤平成25年、大学時代を過ごした福島県の任期付き職員に応募、会津若松建設事務所で1年数ヶ月後方支援として勤務しましたが、被災の最前線で従事したく神奈川県に転籍し、宮城県気仙沼市での宅地造成を皮切りに、いわき建設事務所では海岸堤防の復旧かさ上げ工事に2年間従事し、4月より広野町の建設課で下水道の復旧工事に携わっています。当町が掲げる「夢と志をもって新しいまちづくり」の一助となる様に、土木技術者として最終章を勤めあげたく思っています。(現在67歳)



2016.5.25 神奈川県黒岩知事来県の折、派遣職員との懇親会での集合写真(広野町役場)

(前列中央・黒岩知事。前列右から2人目・中上さん)



①小野 真吾 (おの しんご)

②復興庁福島復興局

③環境防災課

(防災行政無線戸別受信機関係他)

④平成29年6月1日～

⑤私は復興庁福島復興局より辞令を受け、広野町環境防災課で働くことになりました。防災課は初めての経験になりますが、地球温暖化が原因と思われる全国各地でみられる記録的大雨情報、北朝鮮のミサイル問題等、現在の防災を取り巻く環境は厳しさを増しているように思われます。私は宮城県出身ですが、福島県は以前にも住んでいたことがあり、なじみがあります。福島県は自然が多く美しいと思います。そのような環境の中で私は復興庁の復興支援員としての自覚を持ち、広野町に貢献して行きたいと思えます。全体を大きく見る感覚と、個々の問題に対して自分に何が出来るか、考えを持って住民に貢献して行きたいと思えます。



富岡町



富岡町ふたばワールドに来た

くまモンと2ショット

①堀 英司 (ほり えいじ)

②神奈川県 (熊本県)

③産業振興課 (農林水産事業に関する業務)

④平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日

⑤東日本大震災で被災した東北の地で土木技術者として今までの経験を生かし震災復興に貢献できればと思い3年前から岩手県の震災復興に携わり、今年度から福島県の富岡町に来ています。

産業振興課農林水産係で富岡漁港共同利用施設整備事業や帰還困難区域の農地保全等の復興事業を行っています。

福島県は阿武隈、奥羽、越後の山々や太平洋等、風光明媚な場所や温泉も多く、休日は県内で山登りや温泉を満喫、おいしい桃や柿、なし等、旬の自然の恵みを堪能させて頂いています。

自然豊かな魅力満載の福島、温暖な気候の沿岸部で復興に携われることは技術者冥利に尽きるというものです。

富岡町の避難されている皆さんが帰りたくなる魅力ある町づくりに貢献できるよう、早く帰って来られるよう震災復興に尽力してまいります。

①鈴木 康雄 (すずき やすお)

②神奈川県 (神奈川県横浜市)

③教育委員会教育総務課

④平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日

⑤神奈川県任期付職員として富岡町に派遣されて約9ヶ月過ぎますが、被災地派遣は、前職(東京都任期付職員)を含めると、6年目(4番目の自治体)です。福島県は東北地方の最南端であり、もはや関東地方と変わらない印象です。福島県民の皆様に親しまれる建築物が残せたら幸せです。



①木村 文男（きむら ふみお）

②神奈川県（群馬県）

③拠点整備課

（防災集団移転促進事業に伴う用地買収）

④平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤人生の最終章として、被災地で土木関連業務に携わってみたいと考え、昨年度は広野町で業務にあたっておりました。更に復興に時間がかかる富岡町の復興に携わりたい気持ちが強まったので、富岡町にお世話になることになりました。

浜通りは気候的には比較的温暖で人間的にも穏やかで優しいように感じます。一人でも多くの町民が戻って、震災前の生活に一步でも近づけるように…と願っています。



浪江町

①渡部 辰幸（わたなべ たつゆき）

②千葉県成田市

③企画財政課

（公共交通・ロボットテストフィールド整備）

④平成28年4月1日～平成30年3月31日

⑤私は趣味で走っていますが、あるとき大会運営のボランティアに応募したら、走れる人は走ってくださいと言われ、そうか自分はランナーとしての役割を果たせばいいんだと妙に納得したことがありました。

今回、復興まちづくりという重要な仕事に携わる機会を与えていただいたことに感謝しつつ、自分に何ができるかを見極め、できることを精一杯果たせればという思いです。同志のみなさま、どうぞよろしく願いいたします。



①渡辺 靖雄 (わたなべ やすお)

②新潟県小千谷市

③まちづくり整備課
(復旧・復興、再生に向けたまちづくり業務)

④平成25年4月1日 ~ 平成29年3月31日

⑤新潟県中越大震災を経験した職員として、少しでも浪江町の復旧・復興のお役に立てればとの想いで赴任いたしました。

震災から6年が経過し、町には帰還した住民の姿も少しは見受けられるようになりました。しかしながら、未だ街中にイノシシ・サル・キジ等が大手を振って闊歩している様は正に異様な光景と言わざるを得ません。

用地業務という職務上、県内外に避難している住民を訪問し話を伺う機会が多くあります。そのなかで、津波や原発災害から逃げ延びた状況や現在の想い等、生の貴重な体験談を聞くことができます。

このように、浪江町が被った災害は、中越大震災とは全く異質の災害であり、改めて津波・原発災害の恐ろしさ、悲惨さを感じるとともに、貴重な体験をさせていただいております。



①平井 智子 (ひらい ともこ)

②岡山県赤磐市

③産業振興課
(産品振興・観光振興、事業再開・帰還促進事業)

④平成28年4月1日 ~ 平成30年3月31日

⑤平成24年8月に2週間だけ派遣で来ていたのですが、短期間では何もできず、長期派遣を希望しました。

福島は岡山と同じで果物がおいしく、浜通りの気候も地元とあまり変わらないため、快適です。浪江町は3月に避難指示が一部解除となり、8月に町内で花火大会や盆踊りなどのイベントを開催しました。町民の皆さんとふれあう機会も多く、楽しく仕事をさせていただいています。



平成 29 年 12 月 発行

編集 福島県総務部市町村行政課

TEL 024-521-7057

FAX 024-521-7904